

令和 6 年度 第 2 回 伊豆の国市総合計画審議会 議事録

開催日時	令和 7 年 2 月 27 日（木）午後 2 時から午後 3 時 40 分まで
開催場所	韮山文化センター（韮山時代劇場）映像ホール
出席した委員	小泉会長、浅井委員、飯田委員、石川委員、稲村委員、今井委員、岩田委員、小野委員、菊地委員、佐野委員、土屋委員、中野委員、堀江委員、松下委員、谷津委員
欠席した委員	鈴木委員、土山委員、橋本委員、室伏委員
市出席者	市長、副市長、企画財政部長、まちづくり政策監、企画課長、企画係長、企画係 2 名

1 開会

事務局の進行により開催した。

2 市長あいさつ

伊豆の国市は、令和 7 年度に市制 20 周年を迎え、また、韮山反射炉が世界遺産に登録されて 10 周年にもなるが、市制がはじまってからの 20 年間で、5 万人を超えていた人口が大体 4 千人から 5 千人減っている。今後の 20 年間ではさらに 1 万人減るのではないかとこのような推計もある。

人口減少を抑制することが必要であり、人口が減少した社会でも持続可能な市の運営ができるよう、2 つの方向から対策が必要であると思っている。

また、20 周年という節目を迎えるにあたり、新たな取組として市民憲章を策定し、4 月にお披露目させていただく。これはいわゆる市民全体で、これからこういう社会を作っていくのだというビジョンになるものである。これを踏まえる形で、令和 8 年度からの第 3 次総合計画を策定していく。

今日は第 2 回の審議会ということで、第 3 次総合計画の骨子と、基本構想の素案について議論いただくこととなっている。

忌憚のない御意見をいただきたいと思うので、本日はよろしくお願いします。

3 第 3 次伊豆の国市総合計画策定に向けたこれまでの取組について

資料 1 に基づき、第 3 次伊豆の国市総合計画策定に向けたこれまでの取組について、事務局より説明を行った。

4 伊豆の国市を取り巻く社会情勢と市の現況について

資料 1 に基づき、伊豆の国市を取り巻く社会情勢と市の現況について、事務局より説明を行った。

5 議事

伊豆の国市総合計画審議会条例第 8 条第 2 項の規定により、小泉会長の進行により、議事を進めた。

(1) 第 3 次伊豆の国市総合計画の骨子について

会長は、第 3 次総合計画の骨子について、事務局へ説明を求めた。

令和 6 年度 第 2 回 伊豆の国市総合計画審議会 議事録

事務局は、資料 1 に基づき、第 3 次総合計画の骨子について、説明を行った。

会長は、第 3 次総合計画の骨子について、委員に意見を求めた。

※発言及び意見書による意見は別紙のとおり

(2) 第 3 次伊豆の国市総合計画基本構想の素案について

会長は、第 3 次総合計画基本構想の素案について、事務局へ説明を求めた。

事務局は、資料 1 に基づき、第 3 次総合計画基本構想の素案について、説明を行った。

会長は、第 3 次総合計画基本構想の素案について、委員に意見を求めた。

※発言及び意見書による意見は別紙のとおり

小泉会長は、議事の終了を宣言し、進行を事務局に戻した。

6 その他

今後の予定について、事務局より説明を行った。

7 閉会